

札幌リハビリテーション専門学校

学校関係者評価報告書

(令和7年)

学校法人西野学園

札幌リハビリテーション専門学校

令和7年10月
学校法人西野学園
札幌リハビリテーション専門学校
校長 堀野 智宏

学校関係者評価について（報告）

「職業実践専門課程」の認定を受けている本校では、平成24年度から教職員による「自己評価」を、さらに平成26年度から「自己評価」結果を踏まえた「学校関係者評価」を実施しています。

「職業実践専門課程」としての教育の充実を図るため「学校関係者評価」の実施にあたっては、関係機関や本校の卒業生の方々から構成される学校関係者評価委員会を編成、年3回の委員会を開催し、本校の「自己評価」結果をもとに、外部の観点から貴重なご意見やご要望をいただいております。

本校としては、学校関係者評価委員会で頂いたご意見やご要望をもとに課題を把握し、速やかに改善策を検討するとともに、広く社会のニーズに適した学校運営や教育課程の編成に、組織的かつ継続的に取り組んでおります。また、その自己評価と外部評価について本学園のホームページ上に公開しております。

今後ともより良い学校運営、教育活動を目指し、学校関係者の方々との連携・協力をはかりつつ、教職員一同尽力してまいりますので、今後とも本校へのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上

記

「令和6年度学校関係者評価」につきまして、次のとおり報告いたします。

1 学校関係者評価委員 名簿

氏 名	所 属
杉原 俊一	医療法人秀友会 札幌秀友会病院 公益社団法人 北海道理学療法士会 常任理事
吉岡 英章	医療法人社団憲仁会 牧田病院 公益社団法人 北海道作業療法士会 副会長
佐藤 喜亮	社会医療法人社団三草会 クラーク病院
高松 尚徳	医療法人清仁会 北海道内科リウマチ科病院

2 学校関係者評価委員会開催日時

第1回 令和7年6月25日（水） 15:00～17:00

第2回 令和7年9月18日（木） 15:00～17:00

（第3回は令和8年2月19日（木）を予定）

3 今年度の学校関係者評価実施の流れ

令和7年 4月 令和6年度の教育活動等に関する「自己評価」を実施

〃 6月 令和7年度第1回学校関係者評価委員会を開催し、「自己評価」に基づく「学校関係者評価」の内容を提示

〃 9月 令和7年度第2回学校関係者評価委員会を開催し、「学校関係者評価」の内容を確認

〃 10月 「令和6年度学校関係者評価」をホームページに公開

令和6年度 自己点検評価項目		令和4年度 自己評価 (平均)	令和5年度 自己評価 (平均)	令和6年度 自己評価 (平均)	学校関係者評価委員会による評価
Ⅰ 教育理念・目標	1 理念・目標・育成人材像は定められているか。	3.8	4.6	4.2	「共育から共生へ」という新たな理念のもと、社会のニーズを的確に捉え、教育の質を担保するための具体的な取り組みを進めている点を高く評価します。特に、「わかる授業」の実現に向けた「教育手法の向上」や「評価方法の改善」、さらには全国版「クラス運営ハンドブック」の刊行といった実践的な活動は、理念を具現化するものであり、今後の教育成果に繋がることを大いに期待しています。
	2 社会のニーズ等を踏まえた学園の将来構想を抱えているか。	3.7	4.2	3.5	
	3 理念・目標・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか。	3.5	4.1	4.0	
Ⅱ 学校運営	4 目標等に沿った運営方針が策定されているか。	3.6	3.9	3.9	学校経営方針に基づき、各学科の方針から個人の目標設定までが一貫して適正に行われていることを確認しました。また、北海道保健福祉局およびハビリ教育評価機構による監査・審査を問題なく完了されたことは、貴校の運営が適正であることを客観的に証明するものです。今後もこの健全な運営体制を維持されることを期待します。
	5 運営組織は明確にされ、有効に機能しているか。	3.4	3.3	3.5	
	6 情報システム等による業務の効率化が図られているか。	2.9	3.6	3.5	
	7 学校内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られているか。	3.0	3.9	3.6	
	8 教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	3.6	4.0	4.2	
Ⅲ 教育活動	9 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.6	3.7	4.3	国家試験において、依然既卒者の合格率は低いですが、5年平均で90%以上という全国平均を上回る高い合格率を維持されていることは、計画的かつ質の高い国試対策の賜物であり、特筆すべき成果です。高く評価いたします。一方で、自己分析にもある通り、経歴年数の浅い教職員が増えている現状を踏まえ、教職員の研修や支援体制をさらに充実させ、その成果を学生指導に還元していくことが、教育の質を維持・向上させる上で重要であると考えます。
	10 学校行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか。	3.5	3.6	4.3	
	11 授業規律を確保し、統一した指導体制のもとで教育活動が行われているか。	3.4	4.4	4.5	
	12 関連分野の企業、関連施設等、業界団体等の連携により、教育課程の編成や点検等が行われているか。	3.4	4.4	4.2	
	13 成績評価、単位認定の基準は明確になっているか。	3.5	4.2	4.7	
	14 授業評価の実施等、評価体制があるか。	3.5	3.8	4.5	
	15 職員の能力開発のための研修が行われているか。	3.4	3.4	4.0	
Ⅳ 学修成果	16 クラス担任と教科担任との連携を密にし、学生の実態に合った指導法の確立に努めているか。	3.6	4.7	4.6	就職率100%の達成は素晴らしい成果です。学生サポートセンターと連携した手厚い支援体制が実を結んだものと評価します。今後の社会情勢の変化、特に都市部での就職環境の厳しさを見据え、引き続き学生一人ひとりの希望分野や地域に寄り添った就職支援に努めていただくことを期待します。
	17 就職率の向上は図られているか。	3.5	4.6	4.7	
	18 退学率の低減は図られているか。	2.8	3.6	3.5	
Ⅴ 学生支援	19 卒業生・在校生の社会的な活動を把握し、評価しているか。	3.1	3.7	4.4	卒業生の支援体制についてはN°6委員会です卒業生調査を実施しており、卒業生の学術活動、職能団体での活動等の結果分析を踏まえた今後の計画を期待します。学生サポートセンターを中心とした支援体制が充実しており、それが休退学者の減少という具体的な成果に繋がっている点を評価します。多様な課題を抱える学生に対する多面的・包括的に関わる支援体制は大学では困難であり、教育機関における社会的な役割として評価出来る。一方で、メンタルヘルスの課題を抱える学生が増加している現状に対し、学外の相談室の利用が伸び悩んでいるという課題認識は重要です。今後は、教職員によるカウンセリングの充実とともに、外部相談機関の利用をより積極的に推奨するなど、学生が支援を求めやすい環境づくりに一層取り組んでいただくことを望みます。
	20 学生相談に関する体制は活用されているか。	3.2	3.7	4.5	
	21 学生の経済的支援体制は整備されているか。	3.6	4.5	4.5	
	22 保護者と適切に連携しているか。	3.7	4.2	4.8	
	23 卒業生への支援体制は整備されているか。	3.2	3.9	3.9	
	24 ロングホームルームなどを効果的に活用し、職業観・勤労観の育成に努めているか。	3.4	4.1	4.6	
	25 社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3.3	3.5	4.2	
Ⅵ 教育環境	26 学生が自己理解、自己啓発、自己実現をするための方策が整備されているか。	3.3	4.5	4.2	中長期的展望に基づいた計画的な施設・設備投資が行われていること、また、学生防災委員会（EDC）の活動を通じて、実践的な避難訓練を実施するなど、防災に対する意識が非常に高い点を評価します。ハード・ソフト両面から、安全で質の高い学習環境を整備しようとする姿勢が見受けられます。
	27 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	3.0	4.1	4.0	
	28 図書室利用の活性化が図られているか。	2.7	3.4	4.1	
Ⅶ 学生募集	29 防災に対する体制は整備されているか。	3.3	3.9	4.2	オープンキャンパスやSNSでの情報発信など、積極的な広報活動を展開されていることは評価できます。しかし、それが必ずしも入学者数の増加に結びついていないという現状は、学校にとって喫緊の課題であると認識しています（授業料こみこみ制度等は、臨床実習制度を知らない家族等には利点がイメージしにくい等）。今後は、これまでの活動を分析し、より効果的な広報戦略を構築するなど、入学者確保に向けた更なる工夫と努力を期待します。
	30 学生の募集は適正に行われているか。	3.4	3.3	4.6	
	31 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3.4	4.3	4.2	
Ⅷ 財務	32 中長期的に学校の財政基盤は安定していると言えるか。	2.6	3.3	2.6	西野学園という安定した財政基盤を持つ法人に属している点は強みですが、入学者数の減少が続けば、学校単体での長期的な財政基盤に不安が生じることは避けられません。財務の安定は、学生募集の成果と直結する最重要課題です。SNSの活用をはじめ、貴校の魅力を効果的に伝え、入学者増に繋げるための継続的な取り組みを強く要望します。
	33 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	2.8	3.4	3.2	
Ⅸ 法令等の遵守	34 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.5	4.1	4.5	専門学校設置基準をはじめとする各種法令等を遵守し、適正な学校運営がなされていると評価します。個人情報の取り扱い等についても、適切な対策が講じられており、コンプライアンス体制は適切に機能していると判断します。
	35 個人情報の保護のための対策がとられているか。	3.4	3.7	4.6	
Ⅹ 社会貢献等	36 学校のエデュケーションや施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか。	3.3	4.4	4.5	「桑園ラン伴」の企画・運営をはじめ、学生が主体となった地域貢献活動やボランティア活動に積極的に取り組んでいる点を高く評価します。これらの活動は、学生の人間成長を促すだけでなく、地域における学校の価値を高めるものです。今後も、学校の理念に基づき、こうした社会貢献活動を継続・発展させていくことを期待しています。
	37 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	3.6	4.4	4.5	
評価基準		適切－5	ほぼ適切－4	やや適切－3	不適切－2 わからない－1